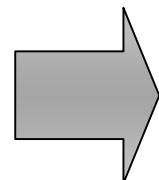


「10年後の東京」の目標

- 海の森が整備されており、街路樹が 100 万本に倍増している。
- 東京を緑あふれる都市へと変えていくため、新たに 1,000ha（サッカー場 1,500 面）の緑が生み出されている。

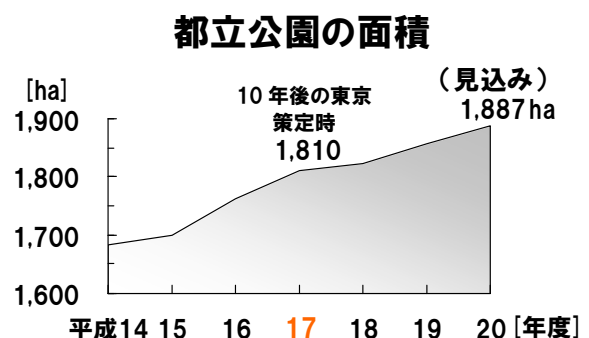
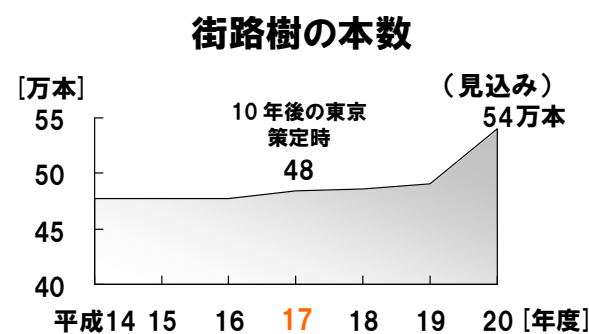


3年後の到達目標

- グリーンロード・ネットワークの形成・充実に向け、街路樹のモデル整備を 5 地区、9 路線で実施
- 海の森で 14ha の植樹
- 3 年間で 400ha の緑を創出（都市公園 156ha、水辺空間等の緑化 35ha、都市空間のすきま 145ha、校庭芝生化 65ha）

これまでの取組と課題

◇ 街路樹や都立公園の緑は
これまで着実に増加



- ◇ 緑の増加を都民が実感できるように、目で見えて美しく楽しめる緑の創出を
- ◇ 広がりや厚みのある緑の創出を更に推進するため、都民や企業、国・区市町村との連携強化が重要

3か年の事業展開

都民が実感できる質の高い緑の創出

○ 成熟した都市にふさわしい美しい街路樹の再生

- ・ 区部は風の道創出に向けて駅周辺など 5 地区でモデル整備
- ・ 多摩部は多摩湖自転車道など 9 路線でモデル整備
- ・ 美しい樹形をつくるせん定や都民との協働による植樹帯の管理・育成



晴海通りの街路樹

○ 公園と道の緑の連携によるグリーンロード・ネットワークの充実

- ・ 公園と街路樹との一体的な整備を行い、歩いて楽しい緑空間を創出

○ 海の森の着実な整備

- ・ 14ha を都民や企業と植樹

○ 都市公園の整備を加速

- ・ 都立公園 70ha を開園
- ・ 区市町村との連携強化で都市公園 80ha を開園
- ・ 国営公園の整備 6 ha



海の森の将来イメージ



水辺空間の緑化（旧中川）

○ 緑の水辺空間を創出

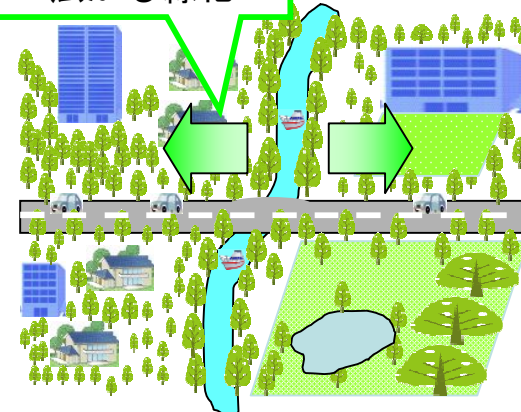
- ・ 河川、運河の緑化 15ha
- ・ 海上公園の整備 20ha

線から面へ広がりや厚みのある緑の創出

○ 道路の街路樹や水辺の緑を周辺の緑とつなげる水と緑の回廊づくりに着手

- ・ 道路や河川の整備と周辺まちづくりにおける緑化を組み合わせ、厚みのある緑空間を創造
- ・ 白子川、調布保谷線など 5 地区において推進計画を策定

水と緑の軸から広がる緑化



環境先進地区臨海エリアを緑あふれる空間へ

■ 有明～晴海地区

- 有明からの緑の軸を中心に、広がりや厚みのある緑を創出
- 企業との協働で緑の東京を実現
 - ・ 業界団体に積極的に緑化を呼びかけ
 - ・ 優良な自主的緑化の取組を都が認定

■ 臨海副都心地区

- 緑化基準の強化（敷地の 40%）で緑創出量を大幅引上げ



水と緑の回廊の形成

～グリーンロード・ネットワークの充実に向けた街路樹整備のモデル地区・路線～



多摩湖自転車道



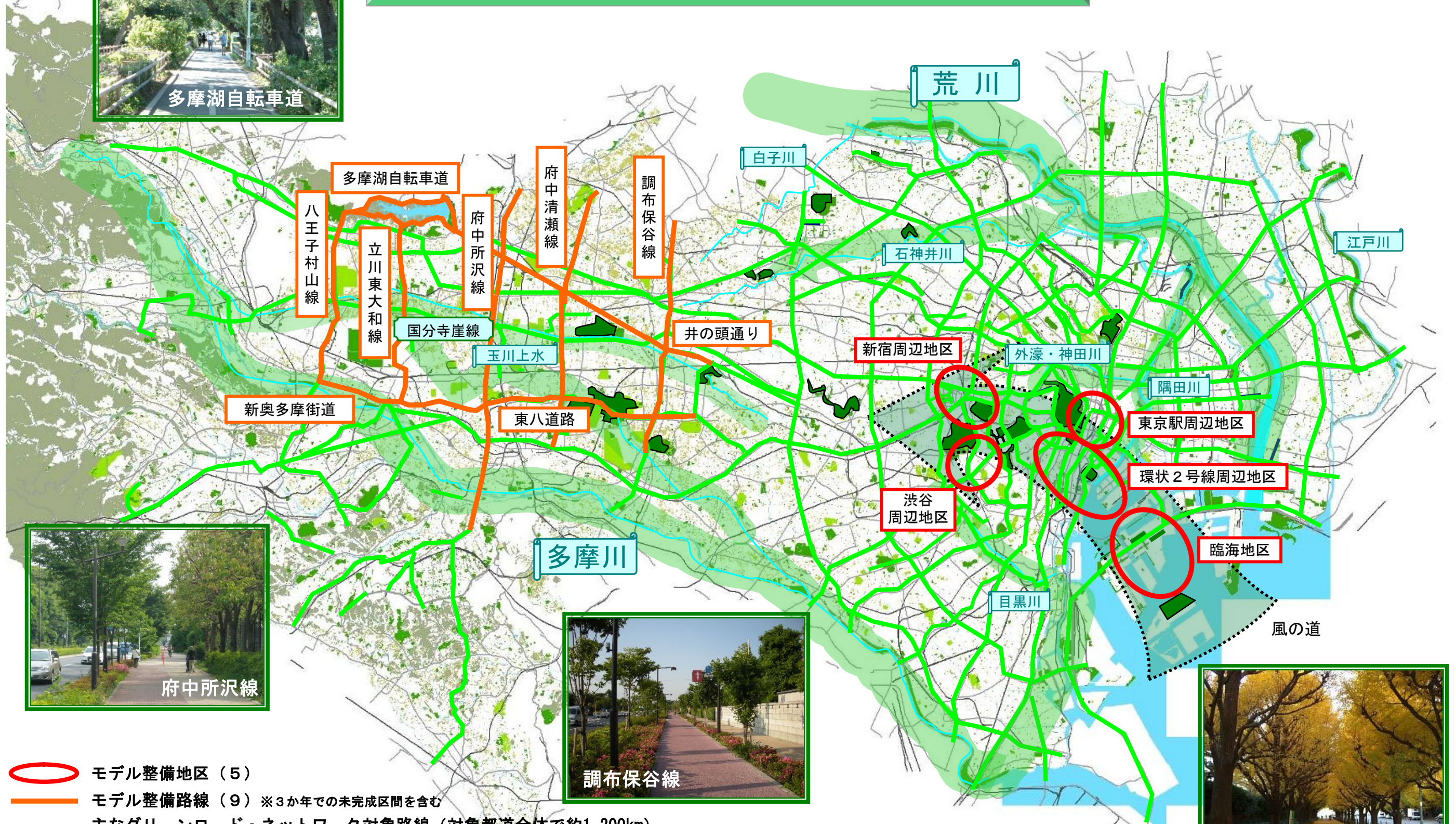
府中所沢線







調布保谷線



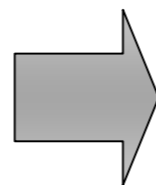
明治神宮外苑 美術館前



-  モデル整備地区 (5)
-  モデル整備路線 (9) ※3か年での未完成区間を含む
-  主なグリーンロード・ネットワーク対象路線 (対象都道全体で約1,200km)
-  大規模な公園

「10年後の東京」の目標

- 針葉樹と広葉樹が調和した美しい森林が復活し、その機能が再生している。
- 身近な緑である農地が保全されている。



3年後の到達目標

- 「緑確保の総合的な方針」を区市町村と合同で策定
- 「都市と農業が共生するまちづくりモデルプラン」を6区市で策定
- 多摩の裸山（シカ被害地）対策を30haで実施

これまでの取組と課題

◇ 緑保全の取組を推進

特別緑地保全地区の指定	138ha
保全地域の指定	740ha

◇ しかし、開発に伴う樹林地・農地の減少、林業の低迷に伴う森林の荒廃などの問題が依然として存在

◇ 都内の自治体が共同歩調で保全に取り組む体制を構築

◇ 農業や林業を生かしながら緑を守る取組や、緑の消失など直面する事態へ適切に対応するための取組を展開

3か年の事業展開

守るべき緑を明確化し戦略的に緑を保全

- 「緑確保の総合的な方針」を区市町村と合同で策定
 - ・ 都全域の緑について、緑の連続性等一定の基準で分類し、今後10年間に確保することが望ましい緑を明確化
 - ・ 屋敷林や農地などの貴重な緑を確保する取組の方向性を検討

緑の現状を十分に把握

望ましい緑のあり方及び取組の方向性の明確化

具体的な施策を検討し、樹林地や農地などの緑を保全

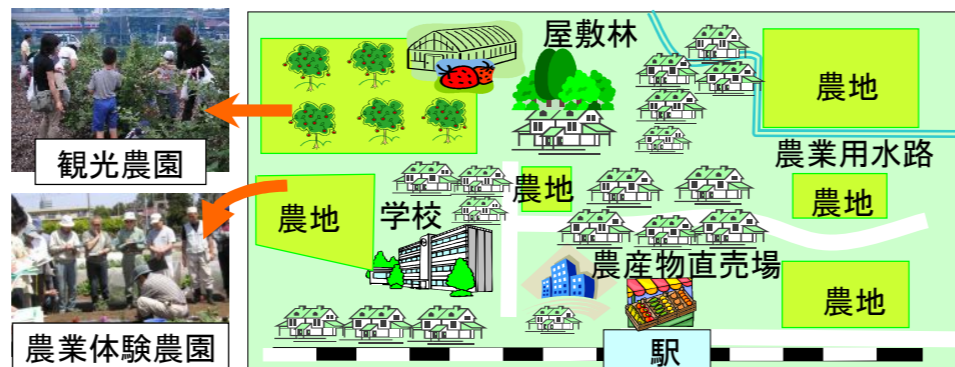


東久留米市の屋敷林

さまざまな工夫で農地・森林保全の取組を展開

○ 環境保全や安全な食の提供にも資する都市農地の保全

- ・ 都市と農業の共生するまちづくりに向け6区市で地場産業活性化などのモデルプランを策定
- ・ 直売所の設置や農業者の指導が受けられる体験農園づくりなどを支援



農地を活かしたまちづくりのイメージ

○ 森林の循環再生プロジェクトを展開

- ・ 伐採、植栽などの森林循環を取り戻すため、基盤整備や作業の集約化を行うモデル事業を実施



檜原村の森林

○ 多摩産材利用を飛躍的に拡大

- ・ 都立学校の書架や東京都立産業技術研究センターなどの内装等を多摩産材製へ
- ・ PR効果の高い普及事業案を民間事業者から公募



多摩産材の内装例

○ 着実なシカ被害対策の実施

- ・ 崩壊のおそれがある箇所30haに植栽
- ・ 市町村捕獲の支援や、東京都、山梨県、埼玉県の共同捕獲を実施

「10年後の東京」の目標

- 都市の記憶を次世代に継承する美しい都市景観が創出され、成熟した都市東京の価値が高まっている。
- 都民や企業と共同した取組により、建築物や広告物が調和した街並みが形成されている。

3年後の到達目標

- 東京駅赤レンガ駅舎の復原、行幸通り・丸の内駅前広場を整備
- 「東京みなと景観ガイドライン」を策定し、中央防波堤地区において景観誘導を開始（平成 22 年度）
- 景観形成特別地区内で条例による規制対象の屋外広告物のほぼ全数を撤去

これまでの取組と課題

- ◇ 景観計画で美しい景観形成を特に進めていくべき地区（景観形成特別地区）等の指定を拡大

- ・ 六義園や清澄庭園など、景観形成特別地区 9 地区
- ・ 甲州街道や隅田川など、景観重要公共施設 17 箇所

甲州街道（高尾地区）のいちょう並木



- ◇ 背後の建物の高さを誘導し、国会議事堂や神宮外苑絵画館等の特定地点からの眺望を保全
- ◇ 東京駅周辺では、丸ビル等の建物を含む一帯をトータルデザインの下に整備

- ◇ 東京の景観資産等を保全しつつ、地区特性を踏まえた美しい景観を更に創出

3か年の事業展開

～「日本の玄関口（陸・海・空）」にふさわしい景観の形成～

○ 陸の玄関口 — 東京駅周辺で「時の流れ」を感じさせる景観を形成

（皇居～行幸通り・赤レンガ駅舎～八重洲口）

- ・ 皇居周辺で緑や水辺等と調和した風格ある景観を誘導する取組を開始
- ・ 丸の内口では、赤レンガ駅舎の復原、行幸通りや駅前広場を整備（平成 23 年度まで）
- ・ 八重洲口でも、民間開発により新たな都市景観が創出（平成 25 年度）



完成イメージ



完成イメージ

（出典）東日本旅客鉄道株式会社

○ 海と空の玄関口 — 船舶や航空機からの視点にも配慮した景観を形成

- ・ 東京みなと景観ガイドラインを策定し、中央防波堤地区で各種施設の色彩や高さ等に統一感を持たせるよう誘導（平成 22 年度）
- ・ 「海の森」や東京港臨海大橋（仮称）により、水辺と調和した新たな景観を形成

コンテナクレーンの色彩イメージ



（参考）イタリア・ジェノバ港
（出典）Alpine Freight Railway ホームページ

中央防波堤地区



東京港臨海大橋（仮称）（平成 22 年度）



完成イメージ

（資料）国土交通省

○ 魅力ある街並み形成の推進

江戸・東京の魅力を感じながらまち歩きを楽しめるよう、観光まちづくり団体等の取組を支援し、歴史的風情や趣きある街並み形成を推進

江戸情緒が感じられる街並み形成のイメージ



ブロック塀

趣きある塀に改修

○ 屋外広告物規制の着実な実施

景観形成特別地区内では、条例による規制に加えて新たに補助制度を設けることなどにより、屋外広告物のほぼ全数を撤去し、文化財庭園等からの良好な景観を形成

屋外広告物の撤去イメージ

文化財庭園内から見える屋外広告物



水辺から見える屋外広告物



撤去